

施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅱ-7-(1)

政策体系	施策名	地域の元気の創造	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	119
	政策名	活力みなぎる地域づくりの推進	関係部局名	企画振興部、生活環境部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④	⑤
取組項目	元気で活気あふれる地域づくりの推進	特徴ある地域づくりの展開	地域づくりを支える 人材の育成	空き家の利活用の推進	地域に活力を生み出す経 済基盤の安定と仕事づくり

【Ⅱ. 目標指標】

指	標	関連する 取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i	地域活力づくり取り組み件数(累計)(件)	①②③ ④⑤	H26	645	845	850	100.6%	1,155	1,670					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	達成 県内各地域で地域資源を生かした地域の活力づくりに取り組んだ結果、目標値を達成した。	達成

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・地域における様々な活動により、雇用の創出や地域資源を活用した産品開発、ツーリズムへの取り組み、熊本地震後の風評被害対策など地域の元気の創造につながった。
②	・芸術文化の創造性を活かし、地域の魅力を高めたり、新しい価値を付加しようとする地域の取り組みを支援した。 （竹田市）竹田アートカルチャー （国東市）くにさきアートフェスタ（アール・ブリュット展） ・祖母傾ユネスコエコパークの登録に向けて、シンポジウムの開催等により、機運の醸成が図られた。
③	・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいたツーリズム大学の修了生が246名となった。
④	・移住者居住支援事業費補助金の補助要件について、移住前の県外居住年数5年以上を撤廃するとともに、移住後1年以内は申請可能として緩和したことで、空き家の利活用数が増加した。
⑤	・Ⅱ-7-(2)を参照。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	地域活力づくり総合補助金	399,967	B	継続・見直し	26
②	創造県おおいた推進事業	57,472	A	継続・見直し	32
②	ユネスコエコパーク推進事業	13,166	A	継続・見直し	78
③	観光地域磨き推進事業	35,946	A	継続・見直し	19
④	移住者居住支援事業	65,231	A	継続・見直し	12

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.11)</p> <p>・阿蘇くじゅう国立公園満喫プロジェクトにより多くのインバウンドが訪れると思うが、自然環境や地域住民への気遣い、マナー等もしっかり情報発信していく必要がある。</p> <p>・また、海外誘客を受け入れる県民自身も成長しなければならず、おもてなしの心は当然として、直に接しない地域住民、子ども達も自分の地域を知り、自然や暮らしに誇りを持つ人材になる必要がある。</p>	
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な主体の取り組みを、きめ細かく柔軟に支援できるよう、地域活力づくり総合補助金の不断の見直しを実施し、地域資源を生かした地方創生に資する取り組みを支援する。 ・地域とアートをつなぐアートマネジメント人材の発掘・育成を行うとともに、ネットワークの構築を推進する。 ・おおいたツーリズム大学等により観光・地域づくりを担う人材の育成を引き続き行うとともに、観光案内所等の連携を促し広域観光案内体制の強化を行う。 ・住居改修等の支援に加え、移住者が生計を維持するために行う店舗等の開設を新たに補助対象とすることで、空き家の利活用数の増加をめざす。